

障害児入所施設の在り方に関する意見等

一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会

団体の概要

1. 設立年月日

平成17年8月28日設立 平成29年4月1日法人化

2. 活動目的及び主な活動内容

活動目的:ファミリーホームに委託された児童の福祉の増進を図るとともに、ファミリーホームの情報交流や相互支援、更にはその制度の普及啓発を行うことにより、家庭養護の充実発展を促進し、もって社会的養護を必要とする全ての児童が、家庭で暮らすことができる社会の実現を目指す。

主な活動内容:全国研究大会の開催、全国8ブロックでの研修及び交流事業、研修委員会、事業調査・政策委員会等委員会活動、「社会的養護とファミリーホーム」出版、ファミリーホーム普及啓発のための各種事業と政策提言

3. 会員数等

300ホーム

障害児入所施設の在り方に関する意見等

【視点-1 障害児入所施設の4つの機能から、ヒアリング団体の所管する施設・事業所との関係等について】

地域での生活を保障するファミリーホームにおいて、乳幼児の発達の支援、学童・生徒の放課後デイの利用などが有用な資源と考えられる。ファミリーホームは、17.8%の割合で障害児を受け入れている。全員障害児のホームもあり、比較的重度の子どもを受け入れているホームもある。個別な関わりの必要な子どもにとっては、小さな規模で養育者が複数いるファミリーホームの役割は大切である。

【視点-2 障害児入所施設全般に関して課題と感ずることについて】

社会的養護と障害児入所施設の関係性の稀薄さを感じている。ファミリーホームのような地域で小規模の取り組みがない。里親(FH)などに障害児が委託されていても障害児施設からの支援が得られない。

【視点-3 障害児入所施設に期待することについて】

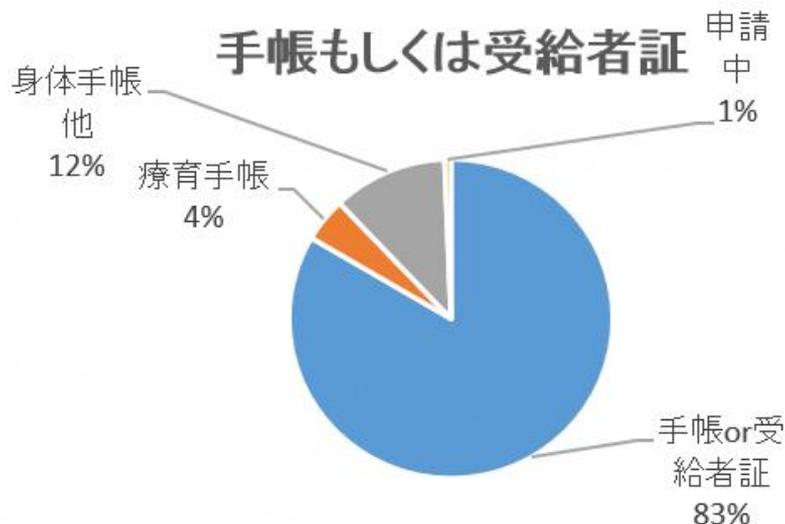
障害があり愛着の問題が厳しいケアニーズの高い子や、強度行動障害の子どもへの専門的支援が必要であるため、有期限有目的で関わってほしい。また、地域支援機能としては、障害児入所施設の持っている専門性をアウトリーチで在宅、里親、ファミリーホームへの支援の役割を担ってほしい。

【その他】

9 手帳及び受給者証

手帳or受給者証	131
療育手帳	7
身体手帳他	18
申請中	1
合計	157

療育手帳や受給者証を持っている子どもの数は、全体で156名が所持しており子ども全体の17.8%となっております。



12 その他の配慮

配慮内容	人数
ADHD	29
発達障がい	23
知的障がい	18
病気など	15
愛着障がい	12
自閉症	10
不登校	7
多動傾向	5
アスペルガー	4
その他の配慮	43
合計	166

配慮内容

